

花子 2008 の技術要望 . . . 目次

ファイルの読み込みと保存について	1
画像読込・出力とイメージ関係に関して	2
文字入力ウィンドウ・文字関係機能について	3
描画機能について	5
UI 関係（メニュー、パレットなど）について.....	6
花子フォトタッチ 3 について	8
その他	10

ファイルの読み込みと保存について

[1] SuiteNavi および花子 2008 のファイルビューアは、花子形式のファイルの文字枠を点線で囲って表示し、中身を表示しない

これはいかにもバグでありそうであるが、もし元々の仕様なのであれば、大変都合が悪い。

花子ファイル（JHD 形式）の文字枠内容が「ファイル」—「開く」の「ビューア付き一覧」や、SuiteNavi のビューアで表示できないことは、何のメリットもないと考えられる。文字枠の内容が見たいときに、いちいちファイルを開かないと見ることができない。これもやはり、余計な制限だと思う。どうして、このような仕様になっているのか、理解できない。

これらのビューア機能を、文字枠表示もできるよう、強化していただきたい。

[2] ラスターイメージ形式（GIF/JPEG/PNG など）でページ毎の保存は、容易にできない（昨年に指摘済み）

「ファイル—上書き保存」、「ファイル—名前をつけて保存」、または「ファイル—他形式の保存」で現在表示中のページにある内容を保存しようとする、GIF/JPEG/PNG などのビットマップ系のデータ形式が選択できない。これは、不便であり、またわかりにくい。

ページ単位で図面の内容を保存するには、確かに CTRL+A ですべての図形、文字枠とイメージを選択してから、「保存—画像・イメージデータで保存」もしくは「一部保存—選択図形」を選んでラスター系の出力形式は選択できるようになる。が、この方法でも、「一部保存—ページ」の保存オプションには、ラスター系のファイル—形式が選べ

ない。

これは、かなり迷うし、細かい作業手順を必要とするので、あまり使い勝手がよくないと思う。保存形式の保存オプションの統一性と使い勝手を、改善して頂きたい。

- [3] **花子を読み込めるデータ形式のファイル—であっても、Windows エクスプローラで「プログラムから開く—花子 2008 プログラム」で開こうとすると、花子でエラーが出る**

花子 2008 の中から挿入・読込できる JPEG, GIF, PNG, TIFF, WMF などのラスター系ファイル—形式は、Windows エクスプローラから開けるはずであるが、現状ではできないようである。(なお、この制限がありながら、同種類のファイル—は、Windows エクスプローラから花子へドラッグアンドドロップができる。)また、これらのファイルは、花子は開こうとするが、「読み込めない形式のファイル—です」とエラーが出てしまう。本来は花子が取扱えるデータ形式なのに、手法によっては「読み込めない」とエラーが出るのも、不可解であり、余計な制限であると感じる。

図面を開いて画像を挿入するという手間を省きたいときに、エクスプローラからこのようにして、花子が一応認識できるファイル形式を、直接エクスプローラから開けたら便利だと思う。(例えば、TXT 形式のファイルをエクスプローラから直接開くときに、花子はそのファイルの含める文字列を、花子の文字入力ウィンドウに読み込めたら、時間の短縮につながる。)また、類似したトラブルで、「ファイル—開く」において「ファイルの種類」を「すべてのファイル」にして JPEG ファイルを開こうとすると、同様のエラーが出る。

なお、JustSuite 2008 から搭載された SuiteNavi を使って、TXT ファイルを花子 2008 に読み込むことができることになり、大変便利だと思う。が、SuiteNavi 経由でないとできないため、花子 2008 のみを持っているユーザーは結局、こういった操作ができず、制限を我慢しなければならない。

参考までに、Adobe Illustrator, Microsoft Visio と Fireworks はそれぞれ、このようなファイルの開き方に対応している(但し、Fireworks 8 は WMF の読込に未対応)。花子だけに制限があるのは、厳しいと考える。是非、その機能性を花子にも設けてほしい。

画像読込・出力とイメージ関係に関して

- [1] **花子において、ユーザーが挿入するイメージ枠または画像枠 (PNG/GIF) の表示画質を改善してほしい**

花子 2008 より、イメージ枠の透過部分が表示できるようになり、表現力が増した。しかし、透過 PNG/GIF は、透過部分とそうでない部分の境界線 (エッジ) に白いギザギザが残り、他社アプリケーションと比較して滑らかな表示とはいえず、明らかに他社

製品より劣る表示になっているため、大変不満である。

この問題は、当方のブログで詳しく取りあげており、下記のリンクで画像でも、症状と再現手順を確認いただけます。

http://ichap.justblog.jp/exploring_hanako/2008/03/post-e531.html

確かに、花子でアンチエイリアス表示を「しない」に設定すれば、白い縁は消えるが、表示は滑らかでなくなり、ギザギザが残るため、綺麗ではない。また、結果的に、この表示トラブルがあるせいで、花子 2008 において透過画像の表示が、PowerPoint, Fireworks, Visio, Drawgraphics, Illustrator などすべての他社製品より劣り、見窄らしい。

こんなことがなければ、花子の表現力はかなり向上されると思う。是非、改善してほしい。

- [2] 「Web 画像として切り出し」または「解像度を指定して切り出し」によって出力したイメージは、花子 2008 に搭載された「図形効果」に対応しない

これをみて「まさか」と思ったが、図形に設定した「反射」「ドロップシャドウ」と「光彩」の効果は、描画パレットにある「Web 画像として切り出し」「解像度を指定して切り出し」で出力できない。また、この制限について、花子のヘルプコンテンツには一切、このことは触れていないようであり、不親切な制限だと思う。

また、描画パレットの「Web 画像の切り出し」において、「切り出す画像」の選択方法を「範囲」にして、図形効果の部分を含んで選択しても、図形効果はついてこないのである。

せっかく設定した効果なのに、どうして出力できないのか、ユーザーが当然、疑問に思うはずである。もし元々この仕様であるのならば、それをヘルプコンテンツに明記することは当然ではないのであろうか。

文字入力ウィンドウ・文字関係機能について

- [1] 文字入力ウィンドウはある程度、最大化できるが（画面の 4 分の 3 くらいのところまで広げられる）、図面を隠して文字入力ウィンドウの全画面表示がしたい一太郎の「エディタ」フェーズのように、花子でも文字入力を中心にした作業には、図面を隠して作業ができれば、便利だと思う。
- [2] 「文字枠の領域」設定を、「文字付き図形」や「カラー」などのパレットから、簡単に切り替えられるようにしてほしい

現状（花子 2008）では、文字枠の領域設定を変えたいときに、メニューまたは右クリックで複雑な操作により、変更しなければならず、5つのクリックが必要である。この作業が煩わしいと思うので、カラーパレットや「図形選択シンプル」パレットに、文字枠の領域設定ができるように、ボタンやドロップダウンメニューを入れてほしい。

(せめて、「ツール—割付—ツールボックス」から割り付けられるよう、コマンドを追加してほしい。)

- [3] **他のアプリケーションよりリッチテキスト (RTF) をクリップボードにコピーし、花子の文字入力ウィンドウに貼付けるときに、プレインテキストに変換されない**
これは、時によって便利に思われるかもしれないが、思わぬ結果になってしまうことがあるので、わかりにくい点だと思う。

例えば、Word 2007 より文字をコピーして花子 2008 の文字入力ウィンドウに貼り付けたときに、コピー元の書式 (文字サイズ、ボールドなど) がそのまま、花子に反映される。しかし、IE7 などのブラウザからテキストをコピーして花子の文字入力ウィンドウに貼り付けたときに、プレインテキストとして貼り付けられる。

昨年にも要望したが、花子の文字入力ウィンドウに文字を貼り付けたときに、その元データの書式を花子に反映させるかさせないかのオプションがほしい。今の状態では、大変わかりにくいと感じる。

- [4] **文字入力ウィンドウ内の表示フォントの設定オプションがない**

一太郎 2008 のエディタフェーズに、画面表示設定があり、表示される文字の書式がここで選択できる。これは、高齢者や目がよく見えない方などには、親切な機能だと思う。同様に花子にも、文字入力ウィンドウに表示される文字のサイズが設定できる。しかし、書式設定 (特に、フォント) がほしい。現在表示されるフォントは MS ゴシックだと思うが、フォントのギザギザが目立ち (MS ゴシックの書体としての制限)、あまり読みやすいフォントではないので、メイリオなどに任意に設定できれば、便利だと思う。

- [1] **PowerPoint 2007 からコピーされたテキストボックスは、花子 2008 では編集不可になっている**

花子 2008 の初期設定では、PowerPoint 2007 でテキストボックスをコピーして、花子 2008 の図面に貼り付けるときに、貼付枠として貼り付けられる。しかしその結果、文字入力ウィンドウに文字が表示されず、また、図形の選択 (文字入力) などのツールで編集が不可能。これは、後から文字が修正したいことを考えると、不都合が生じる。確かに、「ツール」—「オプション」の「他形式変換」に、「Microsoft Office グラフィックオブジェクトを作成する」という項目があり、「する」にしておけば、PowerPoint からコピーしたテキストボックスは、花子に貼り付ける時にちゃんと文字枠として貼り付けられる。

しかし、このオプションの初期設定は「[変換]しない」になっているため、わかりにくいと感じたし、よく調べるまでは、元々花子の制限なのだろうと勘違いした。

「Microsoft Office グラフィックオブジェクトを作成する」のオプションを初期設定で「しない」とするのが、特にユーザーにとってメリットがないと考えるため、初期

設定で「する」になるよう、修正をしていただきたい。

描画機能について

[1] 曲線コネクタがない

Visio 2003, PowerPoint 2003/2007, Fireworks CS3, また花子より廉価である DrawGraphic 2 でも、曲線コネクタ機能が設けられているが、花子 2008 にはまだないので、不便である。また、PowerPoint データを読み込むときにも、曲線コネクタがないと、変換精度が下がる。どうか、曲線コネクタ機能を花子にも追加して頂きたい。

[2] 「溶接」「型抜き」「切り出し」などの図形操作（演算機能）がない、また、何らかの方法があっても解りづらい

花子を使って、図形と図形のパスを合成して新しい図形を作成することは、他社ソフトと比べて大変苦勞することがある。Visio, Fireworks, Illustrator, CorelDraw をはじめとするほとんどのドロー系ソフトには、図形の演算機能が搭載されている。それにもかかわらず、花子にはそのような機能がないのは、不思議であり、また大変不便である。

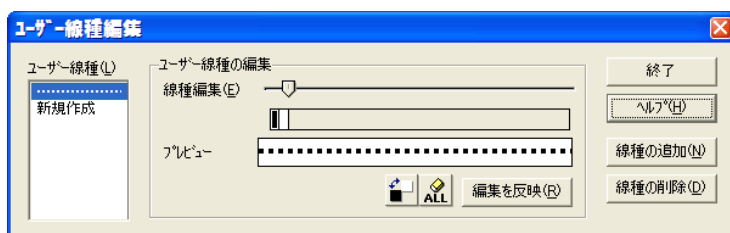
例えば、図形と図形を「溶接」するには、まず前提条件として、両方の図形の塗り設定を「なし」にする必要があり、不要部分を「交点で切断して削除」を数回行ってから、両図形を再び選択して、「1 図形化」で設定をして OK をしてから、やっとできる。しかし、他社ソフトの場合、両図形を選択して「合体」コマンドをクリックするだけで、図形の演算操作（合体）が行える。

花子はこういうところがとても不便で面倒が多いと前から感じている。演算機能（イラストレーターの「パスファインダー」機能に相当するもの）を、もうそろそろ花子に追加して頂きたい。

これは、ドロー系ソフトの「当たり前」の機能となってきた。花子にも、当たり前になってほしい。

[3] ユーザーパターンで作成した、1マス黒・1マス白の「線種」は、点線のはずが、線幅を細くすると、破線になってしまう

花子では、カラーパレットの「ユーザーパターンの編集」オプションを使った、カスタムの線種が作成できる。しかし、このような設定であっても（黒=1マス、白=1マス）、実際にその線種を当てはめるときに表示される線種は、点線ではなく、波線になってしまう。



特に、選択されている線分の線幅を「1 Dot」にした場合、線分が明らかに波線である。実際の点線をどうやって花子で表示できるか、分からないが、点線が分かりやすく描けるよう、改善してほしい。

[4] 表作成・編集のサポートが欠落している

これは花子の本当に残念なところである。PowerPoint とのデータのやりとりにおいて、花子において表組みがサポートされない点は、正直に言って厳しいとしか言いようがない。

確かに、花子の「ツール」—「オプション」には、「Microsoft Office グラフィックオブジェクトを作成する」という項目があり、それを「する」に切り替えると、PowerPoint で作成した表をコピーして花子に貼り付けるときには、ある程度、表の編集機能は保持される（セルのテキストボックスの編集や、セルの色の編集など）。しかし、そのオプション項目はもともと「しない」となっているばかりか、花子で表を作成する機能も設けられていないので、いったん花子に読み込んだところで、表として存在しなくなり、手間がかかる。

花子にも、表作成機能を設けてほしい。

[5] 三角形は作図パレットで作成できない

Illustrator もそうであるが、PowerPoint などには、ちゃんと三角形の描画ツールが備えられている。ないと、わざわざ台形を変形したりしないとすぐには描けない。どうか、花子にも、追加してほしい。

UI 関係（メニュー、パレットなど）について

[1] 「プレイン」のパレットにおいて、選択中のプレインは非表示できない（昨年にも指摘）

使用中のプレインを非表示にするには、まずほかのプレインに切り替えてから、非表示したいプレインのチェックを外す手間がかかる。以前にも指摘したが、これは不便であり、改善をしてほしい。

[2] 描画ツールボックスのキーボードショートカットのカスタマイズができない

Adobe Illustrator, Photoshop などのアプリケーションは、ツールボックスのキーボードショートカットが変更可能であり、時間の節約につながるばかりか、ユーザーの好みに合わせて、ソフトの操作性向上につながる。

しかし、花子と花子フォトタッチは、「キーでコマンドを変更」のオプションを有効にしてキーで描画ツールボックスのツールの切り替えができるものの、決まったキーしか使えず、カスタマイズできないので、ユーザーが自分の好みをソフトに合わせるしかなく、不親切である。

どうか、描画ツールボックスのキーのカスタマイズ機能を、追加してほしい。

- [3] カラーパレットのカラーアイテムのマウスオーバー時に、その RGB 値を表示するようにしてほしい
- [4] グラデーションのスライダーの操作性を改善してほしい
昨年にも要望を出したが、未だに改善されていないようであり、大変残念である。花子のグラデーションスライダー（三角形）は小さく、動かしてみると失敗して新しいグラデーション色を作成してしまうことがよくある。とても不親切な機能であるばかりか、高齢者の方、子供やその他マウスがうまく使えない方にとっては、使いこなせないはずである。本当に、使いやすく改善してほしい。他社ドロ系ソフトの例を参考にしていきたい。
- [5] 図面を新規作成したあとに、線種・塗り設定は初期状態に戻らない
これは花子 2008 の仕様かもしれないが、どちらかといえば不便で非合理的である。例えば Illustrator の場合は、新規ファイルを開くときに、必ず線種と塗り設定が、それぞれ黒と白に戻る。これは、ワークフローの観点から考えると、合理的である。なぜなら、ひと通り形だけを書き出してから、塗りつぶしや色設定を適用することが可能だからである。
しかし、花子は、図面 A で複雑なグラデーションや線種設定を行った場合、次の図面 B を開いたときに、その複雑な設定が生かされる。必ずしも使いやすいとは限らない。花子で図面を新規作成する場合、塗り設定を「白」にし、線色設定を「黒」、そして線幅設定を「1pt」などの一般的な設定に戻るよう、修正していただきたい。
- [6] カラーパレットの設定は、最近使った二つのパレットしか表示されない（昨年にも指摘）
これは花子の使い勝手において弱点だと考える。カラーパレットの左上のアイコンをクリックして「カラーパレット切り替え」を選択しても、使用中のパレットと最近使ったカラーパレットは一つしか表示されず、すべてのカラーパレットの中から一つを選ぶことができないようになっている。
「カラーパレット編集」をクリックして「パレット名」を選んで閉じるという工程で行わなければならないようなので、使い勝手がよくないと感じた。
最近使用したカラーパレットのみならず、すべてのカラーパレットがドロップダウンメニューなどにより手軽に変更できるようなコントロールを追加していただきたい。
- [7] カラーパレットの「文字」書体メニューから、Arial が選択できない
Arial は「文字標準シンプル」のドロップダウンをはじめとする他のメニューから選べるものの、カラーパレットには見当たらない。他の欧文フォントは選択できるのに、Arial が選択できないのは、不思議である。
カラーパレットの書体メニューにも、Arial を追加してほしい。
- [8] 挿入—イメージ枠の作成—一覧を開く（コンテンツパレット）または挿入—画像枠の作成—一覧を開く（コンテンツパレット）コマンドを実行後、使用中のクリ

ップウィンドウのタブにコンテンツパレットが自動的に入れられ、クリップウィンドウが窮屈になるときがある

コンテンツを図面に挿入するために、パレットが開くのは仕方がないことであろうが、使用中のクリップウィンドウのタブにムリヤリ入れられるのは困る場合がある。むしろ、コンテンツを挿入しようとするときに、クリップウィンドウの「コンテンツ」タブに自動的に切り替わることが、自然な動きだと思う。

コンテンツ挿入時にクリップウィンドウの「コンテンツ」タブに切り替わり、コンテンツパレットをその場所から挿入したい画像を選ぶようにビヘイビアを改善してほしい。

花子フォトレタッチ3について

基本的には、花子フォトレタッチは有効な機能があるとはいえ、長年バージョンアップされておらず、使い勝手が悪い部分が多いと感じるだけでなく、制限が多いという印象も受ける。2000年よりなんの改良も加えられていないこのソフトを、下記のとおり、もうそろそろ改善していただきたい。

- [1] 「長方形選択」「多角形選択」などのツールにより選択した範囲に対して、「塗りつぶし」「スプレー」「明るく・暗く」ができない

Photoshop, Fireworks, また廉価版の PaintGraphic 2 で当たり前の機能ではあるが、いったん選択した範囲は、塗りつぶしなどのツールを選択して、その選択範囲内のピクセルを編集できる。しかし花子フォトレタッチ3には、そのような簡単なことができず、大変残念であると思う。

今時のペイント系ソフトは、このようなことができるので、是非とも、その表現力を、花子フォトレタッチにも、追加してほしい。

- [2] 選択範囲に選択範囲をまた追加できるが、選択範囲を部分的に削除できない（減らせない）

現状の花子フォトレタッチ3は、長方形選択などのツールで選択した範囲に対して、SHIFT を押しながらまた選択範囲をさらに追加できる。しかし、Photoshop Elements, Fireworks と Corel Painter Essentials 4 のように、選択範囲を削除できない。

これは不要な制限であり、また表現の妨げにもなると考えるため、是非とも、その機能性を花子フォトレタッチにも搭載していただきたい。（選択反映を選択した上で、ALT+クリック+ドラッグで選択範囲の部分的削除）

- [3] 楕円選択ツールが無い

現状の花子フォトレタッチには、長方形選択、多角形選択と自由選択ツールはある。しかし、楕円形選択ツールが無く、不便なときが多い。

今時のペイント系アプリケーションには、楕円形の選択ツールが当たり前の機能である。どうか、花子フォトレタッチにも、その機能を追加してほしい。

[4] 出力プレビューの機能がない

花子には、「Web 画像として切り出し」や、「解像度を指定して切り出し」という機能があり、出力に設定した画像のブラウザー機能もある。しかし、花子フォトタッチには、画像の保存。出力時に肝心のプレビュー機能がない。これも、今時のペイントやタッチ系ソフトのほとんど（廉価版の PaintGraphic 2 を除いて）にはある機能にもかかわらず、花子フォトタッチは出力時にプレビューができない。画像を出力してみるほかなく、面倒である。

どうか、花子フォトタッチにも、追加していただきたい。特に、花子本体にあって花子フォトタッチにないということ自体は、統一性がなく、理解できないことである。

[5] 選択範囲、またトリミング範囲の数字入力ができない

Corel Painter Essentials 4, Fireworks や Photoshop Elements のように、数字を指定してトリミング範囲や選択範囲を設定したい。現状の花子フォトタッチでは、この部分は手作業となっており、目で細かく確認しながら行わなければならない、失敗が多い。数字入力であれば、正確に指定できて便利になると思う。

[6] 選択ツールで指定した範囲に対して、トリミングはできない

今時のソフト（Photoshop Elements, Corel Painter Essentials, Fireworks など）は、選択ツールを使って指定した選択範囲に対して、ツールを切り替えないで、トリミングコマンドがそのまま実行できる。しかし、花子フォトタッチ 3 は、長方形選択や自由選択ツールで選択した範囲をトリミングする機能は設けられておらず、ツールの切り替えで面倒がかかる。

この機能は使いにくいと思うので、改善していただきたい。

[7] 「画像」「テクスチャライズ」の「空」模様を増やしてほしい

花子フォトタッチのテクスチャライズ機能は割と使いやすいのであるが、「空」の模様は、Photoshop Elements の「雲模様」のフィルターと比べて、タイルした状態でわざとらしく表示され、あまり美しくない。そのため、使用できる範囲に限られる。

花子フォトタッチにも、タイルした状態でも滑らかかつ自然に見える雲（空）模様を、いくつか増やしてほしい。

[8] 画像の透過色設定が解りづらい

はっきり申し上げるが、花子フォトタッチの透過色設定の機能は、他社製品と比べて解りづらい点と、使いにくい点が多い。透過色選択の画面は、アクティブウィンドウの右下端にあり、ラベルもついていないため、見つけるまでは時間がかかった。

また、いったん透過色のカラーアイテムを選んだあとでも、「編集データの背景色を変更します」というダイアログが出るが、「新背景色で置き換える」と選んでファイルを GIF 形式で保存しようとしても、透過するかしないかの設定画面が表示されずに保存されてしまう。

一方、「編集データの背景色を変更します」のダイアログで「設定だけ行う」をクリックしても、その選んだ背景色が透過色であることは、よくわからない。確かに、アクティブウィンドウの左下のところで、ズーム率の横に背景色のカラーは表示される。が、それが透過色なのか、それとも単なる背景色なのか、目ですぐ確認して分かる方法はないように見える。

花子 2008 より、花子で透過 PNG/GIF を透過したままで表示する機能が搭載されているが、それにも関わらず、花子フォトタッチのほうで透過色の設定がわかりにくい。Photoshop Elements, Fireworks, また廉価版の PaintGraphic 2 でさえ、透過部分を市松模様で分かりやすく・見やすく表示しているのに対して、花子フォトタッチ 3 は、その工夫を取り入れていないのは、かなり使いにくい点だと考えており、7 年間もバージョンアップしないで済まされているのも、納得できない。

どうか、透過色表示・設定の機能を、わかりやすく改善してほしい。

[9] JPEG の出力画質の段階設定は、非常に限られている

これはプレビュー画面が無いことに次いで花子フォトタッチに対してもっとも不満に思うところである。現在のところ、画像を JPEG として保存するとき、画像品質の選択肢は 4 つしか用意されておらず、思うような画質で出力できないことが多い。

出力画像の品質を細かく選べる（だいたい 1~100 の範囲で設定できる）ことは、今のほとんどの画像編集ソフトにはできることだ。OpenOffice Draw でさえ、このように細かい出力設定ができる。Fireworks, Illustrator, Photoshop Elements, PaintGraphic 2, また Corel Painter Essentials 4 はどれも、JPEG 出力の細かい設定に対応している。しかし、花子フォトタッチと花子 2008 は、未だに 4 段階にしか対応しない。これは、不便であり、いかにも時代遅れという印象が強い。

その他

[1] 一太郎 2008 に挿入した「花子透過画像」は、アンチエイリアスや透明度が反映されておらず、花子より表示が劣る

これはやってみて信じられないことであるが、せっかく花子で設定した透明度や滑らかなエッジは、一太郎 2008 でもきちんと表示できないということは、厳しい制限だと考える。Microsoft Office 2002 でさえ、インラインイメージの透明度設定がちゃんと表示できたのに、6 年後に発売された一太郎 2008 でも、透明度やアンチエイリアスに対応しないなんて、かなり一太郎の時代遅れさを感じる。

せっかく花子で作成した図を、そのまま一太郎で表示ができるよう、対応してほしい。

[2] 花子を Intel 搭載 Mac に対応してほしい

花子はもともと Windows のアプリケーションであるが、Macintosh の世界では、花子のようなドローソフトは数がそれほどなく、また花子の手軽さと PowerPoint とのある程度の互換性は、Mac 用には花子のようなソフトがなかなかない。

実は、花子のデータを Mac に持っていくときに、花子データを Mac で読み込めるソフトがなかなか存在せず、結局、Illustrator や PowerPoint に頼ってしまう。もし花子の IntelMac 版があれば、いろいろな可能性が広がると考えられる。

以上